あなたの生涯学習を応援する情報紙

エコー・ちがさき

第66号
2014. 8. 1
文化生涯学習課

楽しみを見つけませんか！
お仲間と、ご一緒に…

救える命を救うために
～救命講習会 受けてみませんか？～

茅ヶ崎市消防本部を訪問しました。

市内で開かれる救命講習会は、消防本部と約１６０人のボランティアが登録する市応急手当普及協会の協力で開かれています。救命講習会について森田弘治協会会長（左）、消防本部救命課・伊藤勝一課長（右）にお話を伺いました。

森田会長　　伊藤課長

実際にＡＥＤを見せていただきました

講習会で学ぶことは？

心肺蘇生法、ＡＥＤの使用方法、止血法、異物除去法のほか、乳児、小児への高度な救命法などもレベルに応じて学び、さらに指導者を目指すこともできます。女性指導者による女性のためのレディース講習もあり大変好評です。講習がはじまり３年。協会の女性会員も増えました。また今年度より、命の尊さを伝える活動が小学校で開始。誰もが応急手当に関する知識を身につけることが必要なのです。

受講できる場所は？

普通救命講習会は年間25回程度予定され公民館、消防署で学ぶことができます。レディース講習や、より高度な内容の講習など、いずれも申し込みが必要です。

日程、場所などはＨＰや広報で確認するほか、公共施設に配布されているチラシをご覧ください。10人以上の団体であれば、出張講習も可能です。市内での講習は指導者１人あたり、およそ５人を指導。他の管轄では10人を指導していることから、より手厚い指導を受けられることがわかりますね。

突然、人が倒れた。するべきことは？

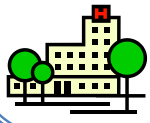
大声で助けを求める。１１９に通報。ＡＥＤの準備をし、呼吸の確認。呼吸がなければ、救急車の到着まで、胸骨圧迫、人工呼吸の救命処置を行うことが大切です。時間との戦いです。

★イベントのお知らせ★

学んでみよう！応急手当体験

９月７日　救急の日イベント

１０月２６日　消防フェスティバル



取材を終えて
～備えあれば憂いなし～

講習は受けるべきだと実感。「まさか！救命の場に居合わせるなんて」と、受講したことがありませんでした。ＡＥＤで命を取りとめ、それがきっかけで指導員となったケースなど話を伺い、身震いしました。

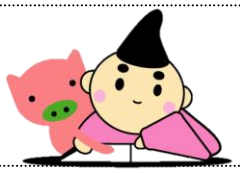
現在市内には約２３０のＡＥＤが設置され、４月からまっぷぁぷちがさきで場所が検索できるようになったとのこと。「よく訪れる場所でＡＥＤの場所を見ておくといいですよ」とのアドバイスに、早速、家族で確認しました。

（ＱＲコード）
ＡＥＤを検索してみましょう

お問い合わせ

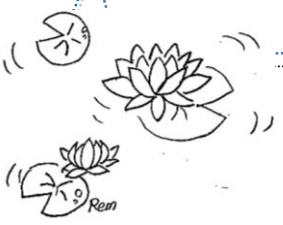
消防本部　救命課

〒２５３－００８５
茅ヶ崎市矢畑１２８０番地３
電話　0467-85-9949
ＦＡＸ　0467-53-1224



まなびの市民講師紹介

P2. 江戸しぐさ「青木まき子さん」
P3. 七宝「早野総和さん」



あなたの学びのお手伝い

青木まき子さんにお話を伺いました。

「江戸しぐさは心のあり方」

～　マナーは相手に恥をかかせない為にある　～

「江戸しぐさに学ぶ」、「マナーとは」と題して、今回は青木まき子さんにインタビューしました。青木さんはお元気で、明るくてパワーあふれる方です。

江戸しぐさは哲学（生き方考え方）

江戸企業家たちの生活信条から編み出された江戸っ子の感性、センスが江戸しぐさです。それぞれが人格を磨くことでお互い気持ちよく暮らしていくことを目指したもの。

例えば、すれ違う時、肩がぶつからないようにお互いに肩をひく「肩引きしぐさ」、更に狭い道では横に歩く「カニ歩き」があります。

ふろしきラッピング

昔ながらの包み方を尊重しながら、身の回りの小物を現代風にラッピングします。買い物袋などのエコバックにもなります。

マナーは生活の知恵の集大成

自分が恥をかかないためにマナーを学ぶという方が多いのですが、本当のマナーとは相手を大切にし、相手に恥をかかせない為にあるもの。冠婚葬祭をはじめ、訪問、おもてなし、食事のいただき方などなど。先人達が日々の生活に役立ち、人間関係が豊かになるよう考えた知恵の集大成がマナーです。

その心配りができてはじめて自分が輝くのです。

体験してみませんか？

「江戸しぐさに学ぶ」
「日常生活のマナー」
「ビジネスマナーの基本」
「今さら聞けない５５歳からのマナー心得」
「素敵なミセスになるための
結婚準備マナー講座」
布と遊ぶ「ふろしきラッピング」「スカーフの結び方」「ハンカチなどを用いたテーブルナプキン折り」他
*ご相談ください

面白くて為になるお話を聞いて学び、他人と上手に関わって生きていくためのちょっとした知恵や行動を身につけてはいかがでしょうか・・・。

ご興味を持った方は青木さんに直接お問い合わせください。
ご連絡先（電話）　０４６７－７４－８４４４

「まなびの市民講師」の横顔

早野総和さんにお話を伺いました。

「棺を覆いて事定まる」

～　これが私の生涯学習のモットー　～

まなびの市民講師の早野総和さんは七宝を教えてくださいます。お話を伺っている間も笑みを絶やさず、七宝のあれこれをお話しくださいました。語り口も穏やかで、温かなお人柄に魅せられてしまいました。

早野さんは七宝を５２歳で始められたそうです。「透明感があり、条件によって色合いが様々に違うところが七宝の魅力ですね。」

机上に作品の写真を並べながら七宝を語る早野さんは実に生き生きとしており、このような先生に教えていただければ、私たちも七宝にきっと魅了させられるに違いないと思いました。

七宝は古代ミケーネが発祥の地で、交易を通じて古代世界に広がりました。正倉院御物にも裏面に七宝を施した鏡があるそうです。七宝の歴史は意外と古いんですね。

「七宝は高額ですが、指導する場合は極力材料費を安くするように工夫しています。また、受講生の皆さんの個性を大事にするように心がけています。」

今年９月３日、１０日の２回にわたって自主企画講座が開かれます。
市民の皆さんも是非受講されて、七宝のきらびやかな世界に遊んでみてはいかがでしょうか。

ご子息がハワイの天文台に勤務していることから計画が進み、来年７月にハワイ大学と連携して七宝の展覧会をハワイで開くそうです。語学力を駆使されて早野さんは国際的にもご活躍の場を広げられています。

「棺を覆いて事定まる－これは中国の歴史書の晋書にある言葉で、棺の蓋が閉められた時にその人の評価は定まるという意味です。そんな気持ちで日々精励しています。」

取材の最後に、早野さんはこんな含蓄のある言葉を添えられました。早野さんの更なるご活躍を期待いたしましょう。

自主企画講座「七宝の額絵に挑戦」（全２回）

内容：額縁に入れて飾れるはがき大の七宝作品制作
日時：９月３日（水）、１０日（水）いずれも９時３０分～１６時３０分
場所：市民ギャラリー創作室Ｂ
費用・持物：５００円（材料費）、筆記用具、エプロン
お申込み・お問い合わせ：８月１５日（金）から早野さん（０４６７－５８－４１９０）へ

市民講師登録人数　６２人　（平成２６年８月１日現在）

私の第一歩

「短歌と出会う」

さつき短歌会会員　小林　政子

　好きな山歩きも七十歳を過ぎ、体力の限界を感じて何か始めたいと思っていました。幸い新聞の歌壇や俳壇には興味があり、何時か自分も詠めたらいいなあと思っていたところ、偶然タウン誌「湘南リビング」に伊藤先生の短歌の講座募集が目に留まりました。できるかなと不安でしたが、思い切って申し込みました。これが短歌と先生との出会いです。伊藤先生との関わりは今年で八年近くになります。優しく、時には厳しくご指導頂き、お陰様で折々の思いを歌に詠んでいます。歌の中に出てくる言葉や読み方など日々発見があり、苦しみもありますが、穏やかな先生のご指導の下、体力が続く限り続けてゆきたいと思います。

「春来れば老いづきし吾も華やぎて
花柄のシャツ選びて買いぬ」
（小林政子）

ご連絡先	0467(83)3587　代表 伊藤要次
会員数	６人
入会金／会費	なし／月額１，０００円
活動日時	毎月第４土曜日　１４時～１６時
場所	茅ヶ崎市勤労市民会館

近ごろ思うこと

まなびの市民講師　清水純一さん

　定年後、暇をもて余していた時、簡単に出来そうだと思って始めたのが俳句である。現在市に登録しているまなびの市民講師は６２名と聞いている。当時の私と同じように、暇をもて余したり、これからの人生で特技や趣味を会得したい方は沢山いらっしゃると思う。そんな人は一歩踏み出して何か始めてみたら如何であろうか。これだけ沢山講師がいれば、何か自分に合うものが見つかる筈である。
　残された人生に生き甲斐を見つけ充実したものにするのは、自分で、行動するしかない。

街角

「歩きましょう・学びましょう」

　介護を受けたり病気で寝たきりになったりせず、自立して健康に生活できる期間を健康寿命といいます。今、この健康寿命を少しでも延ばそうと様々な試みが全国的に広がっています。少子高齢化が急速に進む現状では医療費や年金などの破綻は目に見えています。行政を頼らずに少しでも健康に生活できるように私たちも努力することが求められています。それには足腰や頭脳を鍛えることです。
　さあ、思い切って歩いてみましょう。興味あることを学んでみましょう。歩けば思いがけない情景に出会えます。学べば新しい世界が広がります。茅ヶ崎市を日本一健康寿命が長い街にいたしましょう。

y.i

ひととき

短　歌　（伊藤要次選）

やわらかき赤児の頬は採れたての白桃のごと甘く香れり　石井　多壽子

湯治場の湯煙の中　咳（しわぶき）を残してそっと上がりゆく女（ひと）　井上　篤子

俳　句　（清水呑舟選）

梅雨晴や露地に弾けるあそび歌　伊藤　徳治

紫陽花や風と奏づる雨の音　山口　薫

梅雨晴や命みなぎる嬰の声　宮坂　妙子

【問い合わせ先】文化生涯学習課

編集後記

　エコーちがさき第６６号をお送りします。
　今号は生活に役立つ知恵や、いざという時大切な命を守る方法などを掲載しました。
　皆さまのお役に立てたら幸いです。

m.t

＊未発表の短歌・俳句作品を募集しています。下記宛先へ９月１日（月）までにご連絡ください。
＊次号（第６７号）の発行予定は、平成２６年１１月１日です。

いつでも　どこでも　だれでも　なにからでも

発行・編集　エコー・ちがさき編集委員会
〒253-8686　茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目１番１号　茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課
TEL0467-82-1111(代表)　FAX0467-58-4265　E-mail：bunkashougai@city.chigasaki.kanagawa.jp
PC 用 URL http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/　携帯用 URL http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/